



自主性を生かした修学旅行
—グループ活動を取り入れて—
大宮市立第二東中学校
教諭 川上 次雄氏

本校は今年で開校十一年目を迎えた。今回の修学旅行の特色は、今まで半日だった自由行動を、丸一日としたことである。

修学旅行を一年から三年までの系統的な学習ととらえ、一年での遠足、二年での二泊三日の林間学校、三年での総仕上げの修学旅行と位置づけられているが、修学旅行の準備は二年生の十二月に始め、学年会、修学旅行調査委員会、実地調査、修学旅行実行委員会と積み重ね、周到な事前指導を行った。

主題の自由行動については、班編成(男女混合五〜七名、見学ゾーン八箇所、一ゾーンは二〜四の見学地を含み、うち一つをチェックポイントとする。複数ゾーンの見学可能。職員配置(各ポイントの他、本部二名、巡回員二名)、連絡体制(ポケットベルを使用、本部と各ポイントとは午前午後各一回定時連絡、緊急時一、はじめに)

本校は昭和六十一年四月に開校した。今回の発表は、当時の一年生担当職員が定めた指導目標(校外活動でのグループ活動の積み重ねの上での修学旅行の展開である。)

2、一、二年次のグループ活動
六十一年五月(第一学年)科学万博遠足をグループ行動で実施。三グループが集合チェックで遅れたのみだった。

六十一年一月(第一学年)、焼そば大会実施。学校側は場所、費用、作り方資料だけを与え、他はすべて生徒まかせ。自分たちだけで力を合わせればできるという自信を得た。

六十一年六月(第二学年)、林間学校実施。第二日目の不慮の事故で活動中止。

六十二年三月(第一学年)、鎌倉遠足実施。大宮駅集合、学校帰りのグループ行動で、生徒に修学旅行の事前準備と強く意識させ、行動計画表作成の指導を徹底、万全を期す。

3、修学旅行の準備

**関修委
研究発表会**
(要旨)

**洛中班自由行動に
おける見学活動**
朝霞市立朝霞第四中学校
教諭 小日向 勝美氏



本校は今年で開校十一年目を迎えた。今回の修学旅行の特色は、今まで半日だった自由行動を、丸一日としたことである。

修学旅行を一年から三年までの系統的な学習ととらえ、一年での遠足、二年での二泊三日の林間学校、三年での総仕上げの修学旅行と位置づけられているが、修学旅行の準備は二年生の十二月に始め、学年会、修学旅行調査委員会、実地調査、修学旅行実行委員会と積み重ね、周到な事前指導を行った。

主題の自由行動については、班編成(男女混合五〜七名、見学ゾーン八箇所、一ゾーンは二〜四の見学地を含み、うち一つをチェックポイントとする。複数ゾーンの見学可能。職員配置(各ポイントの他、本部二名、巡回員二名)、連絡体制(ポケットベルを使用、本部と各ポイントとは午前午後各一回定時連絡、緊急時一、はじめに)

本校は昭和六十一年四月に開校した。今回の発表は、当時の一年生担当職員が定めた指導目標(校外活動でのグループ活動の積み重ねの上での修学旅行の展開である。)

2、一、二年次のグループ活動
六十一年五月(第一学年)科学万博遠足をグループ行動で実施。三グループが集合チェックで遅れたのみだった。

六十一年一月(第一学年)、焼そば大会実施。学校側は場所、費用、作り方資料だけを与え、他はすべて生徒まかせ。自分たちだけで力を合わせればできるという自信を得た。

六十一年六月(第二学年)、林間学校実施。第二日目の不慮の事故で活動中止。

六十二年三月(第一学年)、鎌倉遠足実施。大宮駅集合、学校帰りのグループ行動で、生徒に修学旅行の事前準備と強く意識させ、行動計画表作成の指導を徹底、万全を期す。

3、修学旅行の準備

には全職員への通報体制も心配された他校とのトラブルもなく、丸一日の自由行動は無事終了した。

帰校後のアンケートでは、八割以上の生徒が「楽しかった」とし、六割の班が計画通り「できた」と答えている。また、職員の反省会では、以下の諸点が今後の研究課題としてとり上げられた。

・地図、バス路線正確なもの
・教師自身見学の地の地理精通
・班行動経験の蓄積が必要
・問題行動生徒の取り扱い
・時間不足で昼食抜きが出た
・飲食の規制違反があった
・緊急時の対応これだけよいか
・班行動に教科書習習色なし
(以上発表会資料から)

発表は新幹線の車中、宿舎での食事・入浴、奈良・京都での見学、自由行動の様子から学校帰着まで、生徒の表情豊かなビデオが使用され、画期的なものであった。

(文責 編集部)

表1 県別設置校に対する加盟校と加盟率

県名	設置校	加盟校	加盟率
茨城	224	137	61.2
栃木	171	132	77.2
群馬	185	56	30.3
埼玉	406	348	85.7
千葉	362	146	40.3
合計	1,348	819	60.8

表2 修学旅行の期日(出発日)

期日	加盟校	協力校
2年時	0	10
4月	99	4
3年時	322	2
5月	316	15
6月	82	0
7月	0	1
実施しない	0	1
合計	819	32

表3 県別・コース別割付と実績 (未報告校の実績は割付数を当てる)

県名	コース	学校数		人数						
		割付	実績	割付	実績					
茨城	A	301	302	1	0.33	91,468	88,872	-2,596	-2.84	
	B	388	389	1	0.26	87,958	88,112	154	0.18	
	C	70	70	0	0.00	23,076	23,402	326	1.41	
	計	759	761	2	0.26	202,502	200,386	-2,116	-1.04	
	栃木	東	57	58	1	1.75	15,901	15,957	56	0.35
		西								
		北								
		南								
		計	816	819	3	0.37	218,403	216,343	-2,060	-0.94

848校の実態を把握
関修委修学旅行実施報告から(1)

関東地区公立中学校修学旅行委員会(関修委)は、昭和六十一年に実施した修学旅行の実態を調査し、とりまとめを行った。

この調査は、関修委の計画輸送で、修学旅行を実施しているすべての学校(加盟校)が提出した修学旅行実施報告書を集計したもので、今回はその二年次にあたる。

加盟校八百九十九校中八百十六校から報告があり、未加盟校からも、茨城県六校、埼玉県二十六校の協力報告があった。

報告書の内容は次の通り。

- 1、学校名・所在地・電話番号
- 2、実施の期日と泊数
- 3、実施学年と在籍生徒数
- 4、参加人数・不参加生徒数

また、加盟校の実績は割付数を当てる。

表4 県別参加人数の内訳

県名	生徒	教員	他	合計
茨城	31,297	1,604	52	32,953
栃木	26,641	1,349	145	28,135
群馬	6,501	407	45	6,953
埼玉	97,556	4,588	255	102,399
千葉	42,823	2,048	152	45,023
合計	204,818	9,996	649	215,463

(未報告校の数値は除いてある)

一グループがバスを間違えて乗ったことから男女が互いに反目し、はぐれて別行動をとったため、この収拾にタクシーを使用した。運転士にタクシー利用のグループ行動をPRされたが、単にグループで活動するからグループ活動ではない、グループ活動は手段であって目的ではない、安易な形式だけのグループ活動にならないように、とみずから戒め宿舎に入った。

十七時すぎ、全員無事帰館。生徒の顔から、三年間積み上げた最大の行事をやり遂げた感動が汲みとれた。

(文責 編集部)

また、加盟校の実績は割付数を当てる。

5、まとめ

一グループがバスを間違えて乗ったことから男女が互いに反目し、はぐれて別行動をとったため、この収拾にタクシーを使用した。運転士にタクシー利用のグループ行動をPRされたが、単にグループで活動するからグループ活動ではない、グループ活動は手段であって目的ではない、安易な形式だけのグループ活動にならないように、とみずから戒め宿舎に入った。

十七時すぎ、全員無事帰館。生徒の顔から、三年間積み上げた最大の行事をやり遂げた感動が汲みとれた。

(文責 編集部)

発表会の成果を反省検討
関修委研究協議会開く

関東地区公立中学校修学旅行委員会(石川敏夫会長・水戸市立第二中学校長)の第五回研究協議会が、一月十九日十四時から、大宮市の大宮情報文化センターで開催された。

成石昌蔵副会長(川崎市立川越第一中学校長)の開会の辞、石川会長、全修協山本理事長、J.R.東日本東京営業支店野口幸隆氏のあいさつの開会の辞で終了した。

また、加盟校の実績は割付数を当てる。

5、まとめ

一グループがバスを間違えて乗ったことから男女が互いに反目し、はぐれて別行動をとったため、この収拾にタクシーを使用した。運転士にタクシー利用のグループ行動をPRされたが、単にグループで活動するからグループ活動ではない、グループ活動は手段であって目的ではない、安易な形式だけのグループ活動にならないように、とみずから戒め宿舎に入った。

十七時すぎ、全員無事帰館。生徒の顔から、三年間積み上げた最大の行事をやり遂げた感動が汲みとれた。

(文責 編集部)

育てる心はみんな同じ。

●営業受付時間
9:00-17:00 (3月16日-11月15日)
9:30-16:00 (11月16日-3月15日)

●修学旅行料金 高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円
ガイドラジオ
バス1台につき 1,000円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
(09784) 8-2 3 3 1代

楽しい修学旅行を、より安心出来るものに

「国内旅行傷害保険」
修学旅行用をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-212-6211(代表)

昭和61年オープン
ほくせい
新館増築「北嶺」
(130名収容)

座禅体験で
「心、リフレッシュ!!」

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

比叡山
〈国際観光旅館〉
延暦寺会館
TEL 0775-78-0047・0554
TELEX 5464-917
FAX 0775-79-5053

KANSUI KISEN
大阪・神戸 直行便 別府 さんふらわあ 12,000ト

大阪南港 19.00発 → 神戸中突堤 20.30発 → 別府 8.00着
8.20着

信頼の船旅
営業本部営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031
東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273
及び各支店、営業所、旅行代理店へ

修学旅行に
貸切専用外航純客船
さんふらわあ7も
ご利用ください。

春の研修旅行 好評受付中!

【全国研修旅行研究協会・教育研修企画主催の春季教職員研修旅行は、二月に入り参加申込みも相つき好評のうち受付中である。

例年、参加希望が多い京都・奈良方面へは、古典を研修テーマにとりあげた「文学紀行・王朝のロマン」紫式部ゆかりの地を訪ねて、「早春の大和路には「古代史」を研修

四月一日(一部地区は二月二十九日)と切日もせまっており、コースによっては切日前でも満員になり次第受け付けを切れる場合もあるため、早めに参加申込みを。

また古都・奈良を舞台に、四月二十四日から半年間の会期中でシルクロードに生きた諸民族の文化・歴史・技術・くらしなどを総合的に展開する「なら・シルクロード博」の企画・実施に、学校配布の掲示チラシまたは研修本部(〒111東京都千代田区西神田2-1-7 03-262-2932)までお問合せを。

与那国島を訪ねて

—風土・歴史・教育—

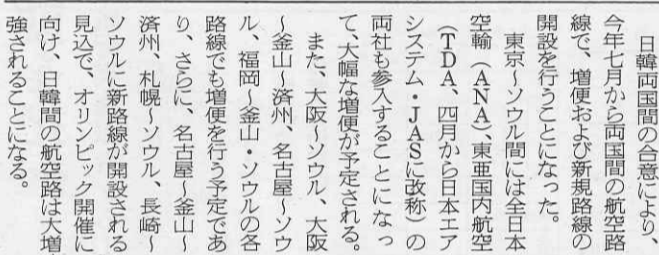
日本最西端の与那国島、東経一二三度、西表(いりおもて)島の西七キロ、晴れた日には台湾が望めるというこの島に、昨年末教職員研修旅行団が初めて訪れた。

人口約二千名、面積二八・五平方キロの与那国町は、租納(その)ない、久部良(くぶら)比川(ひがわ)の三部落から成っている。租納には役場、測候所や郵便局などがあり、人口がもっとも多い島の中心地、久部良は漁業を主に、比川はもっとも小さく静かな農村地である。

島の主な産業は、農業と漁業、サトウキビと米、製糖工場もある。最近肉牛の飼育がさかんになったが、昔からの

「ど、なんの史跡とウガンめぐり」を行い、来島の生徒たちの学習にも役立てている。郷土学習教室は、島民としてしっかりと郷土を見つめさせるのが目的で、引率講師は町教委の社会教育主事、指導主事、見学地は、トゥグル遺跡など三十三カ所。

与那国は、方言では「ど、なん」とよばれる。由来は、大海原の中に盛り上がった土さかんに「ど、なん」とよばれる。



ここは日本最西端の地 与那国島西崎(いりおもて)

牧場では、牛や水牛、馬、山羊などが放牧され、のどかな風景、近海は豊かな漁場、マングローブ、アカマキ、カジキ、カツオなどの漁獲が多い。

交通は不便な昔とちがい、今は港や新空港が整備され、島内はバス・タクシーが走る。与那国の方言は他の島とかなりちがって、外国語のように聞えることもある。フガラツアア(お)があり、ドックイワ(お)や、おやす(お)など、独自の民謡や舞踊は国の重要民俗無形文化財にも指定されている。

島内最高峰の山は宇良部山(二二二・三メートル)、田原(たはら)川にはいつも清流が絶えない。

小学校は三校、中学校一校、幼稚園三園がある。教育委員会では、中学生を対象に「郷土学習教室」

にんばの木、昔四そうの舟が流れたなどいろいろの言い伝えがある。古くは「いやくに」ともよんでいた。

一千年以上も前から人々が住んでいたことは遺跡調査で分かった。一千五百年ごろ、サンアイ・インバという女酋長が治めていたが、その後琉球王国の支配下に入った。

ウガン(お)は、古来から人々の祈りの場であり、神々との出合いの場、そこで行われる年中行事は人々の生活の中であり、心のよりどころである。

トゥグル遺跡は、トゥグルウガン(航海安全を祈願するところ)を中心に広がり、八重山式土器や外来陶磁器が出土する。

また、台湾や東南アジア、大陸との交流を示す史跡も多々ある。

明会が開かれ、県下中学校から百五十名の先生が参加する盛会となった。シルクロード博協会職員の見学会場と周辺状況の説明、(助)全修協前事務局長による「夏季研修旅行」のシルクロード博関連の研修コース説明など、多大の関心をあつめていた。

夏の教職員研修旅行は、四月中旬頃から受付開始の予定。詳細は、学校配布の掲示チラシまたは全修協本部(〒111東京都千代田区西神田2-1-7 03-262-2932)までお問合せを。

青函連絡船が夏に復活運航

JR北海道は、三月の青函トンネル開通により廃止する青函連絡船を、今夏復活運航させる。

青森と函館をそれぞれ「青函博」が七月九日から九月十八日まで開催されるが、これに先立ち、六月三日から九月十八日まで、「十和田丸」「羊蹄丸」の二隻が一日各一往復運航し、夜はホテルとして使用される。

683万人が海外旅行 昨年、史上最高 対前年23・8%増

国際観光振興会(住田俊一会長)が、このほど集計したところによると、昨年一年間に海外旅行に出た日本人数は、一昨年の実績(五百五十一万六千人)を大きく上回り、六百八十三万二千人を記録、さらに運輸省が発表した「デモン・ミリオンプラン」達成への順調な伸びを示した。

2月19日からNTT 遠距離通話料値下げ 新電電三社も同調

日本電信電話では、三百二十キを越える遠距離および離島などの通話料金の値下げを予定していたが(本紙別号所載)二月十九日から実施の運びとなった。

また、昨年九月四日にスタートした新電電三社、すなわち道路公団系の日本高速通信0070、京セラ系の第二電電0077、JR系の日本テレコム0088でも、東海道路ベルト地帯のサービスエリア内で同時に料金を値下げすることにしており、JRグループの「一本列島ダイヤ改正」より一足先に「列島短縮」に貢献する。

全日空、東亜も今夏からソウルへ

日韓両国間の合意により、今年七月から両国間の航空路線で、増便および新規路線の開設を行うことになった。

東京―ソウル間には全日本空輸(ANA)、東亜国内航空(TDA、四月から日本エアシステム・JASに改称)の両社も参入することになって、大幅な増便が予定される。

また、大阪―ソウル、大阪―釜山―ソウル、名古屋―ソウル、福岡―釜山―ソウルの各路線でも増便を行う予定であり、さらに、名古屋―釜山―ソウルに新路線が開通される見込で、オリンピック開催に向け、日韓間の航空路は大増強されることになる。

—修学旅行の楽しいお食事—

箱根彫刻の森美術館内 レストランコンポート

◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。

〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121 ☎0460(2)1141(代表)

美しくに 伊勢志摩 伊勢内宮前 岩戸屋へ

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休みにご利用下さい。

おみやげコーナーは伊勢参拝記念の土産を豊富に販売致しております。

伊勢市内宮前 **岩戸屋**

伊勢内宮前(〒516) TEL <0596> 23-3188(代) テレックス 4969-503 イセイワトヤ

首都東京を見て、何かを!

学校単位の貸切りでご利用下さい

30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容

本郷の旅館へ

本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381

東京コマ旅行会館は第8回優秀防火建築表彰で建設大臣賞を受賞いたしました。東京でのお泊りは安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様へ、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル<全館和室> 東京都港区六本木1丁目7番地 TEL (03)585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

旅のガイドムック

国内編 4 四季の魅力徹底ガイド

東北の本<北> 青森・秋田・岩手 ●B5判192頁 ●定価 1,600円 四季の見どころ、秘湯、郷土料理店、民芸品店など青森・秋田・岩手を徹底ガイド。

国内編 5 独眼竜・政宗最新情報満載

東北の本<南> 福島・山形・宮城 ●B5判188頁 ●定価 1,600円 歴史薫る会津若松、伊達宗政ゆかりの米沢など福島・山形・宮城の魅力を徹底紹介。

セレクト編 4 祭り情報満載!!

旅と祭り 300選 ●A4変型判168頁 ●定価 2,100円

日本全国、四季折々の祭り300を厳選。見どころ、名産など旅の魅力もあわせて紹介。

全国主要書店で好評発売中!

発行 近畿日本ツーリスト出版事業部 ★お求めは全国の有名書店でどうぞ。

〒101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎03(257)0779/直通